

グループ「中国だい好き」

ホーム

基本情報

イベント

活動紹介

問い合わせ

「満州農業移民の歴史」

秩父・旧中川村開拓団の事例一



7月18日(日)、2010年度「中国の魅力を知る」の第1回講演会、「満州農業移民の歴史」—秩父・旧中川村開拓団の事例一が男女平等センターで行われました。

新進気鋭の研究者の講演とはじめて聞く開拓団員の家族=証言者の生の声、引き続いての質疑応答で、あっという間に3時間が経過、その後場所を近くの喫茶店に移して、充実した交流のひと時をもちました。



司会の内田会長が手にしている『凍土からの叫び』(2008年)は絶版になっていた初版(1988年)を増補復刊したもの。

講師の関根先生の大学卒業論文「王道樂土の体験と記憶—埼玉県旧中川村における満州分村移民の歴史」が巻末に収録されています。

関根先生の出身地は秩父。大学卒業後、中国社会科学院大学院で修士修了。旧中川村の満州農業移民の歴史を日本からの視点だけでなく、中国の視点も交えて講演してくださいました。

嶋田さんの、一家(8人)の入植(昭和15年)から単身で帰国(昭和28年)するまでの体験談にはみな息をのんで聞き入りました。